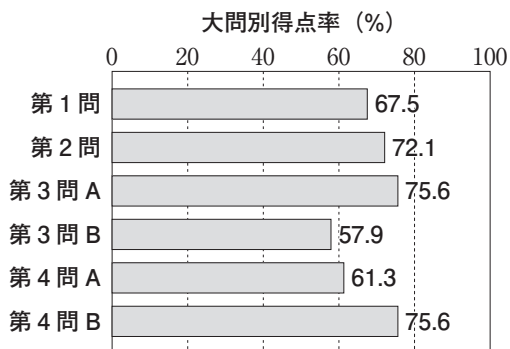
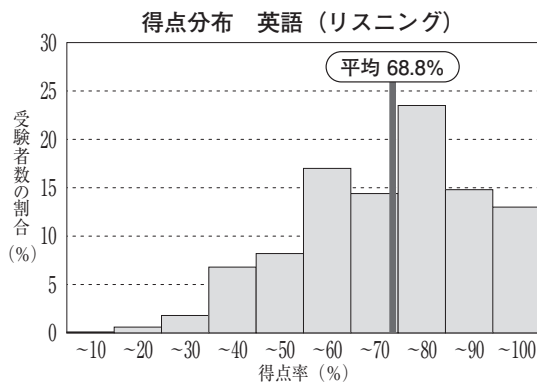


英語 (リスニング)

最後まで力を尽くし、より多くの得点を目指そう！

I. 全体講評

今回の受験学年の平均点は34.4点、得点率にして約69%という結果だった。筆記テスト同様に、残された時間を最大限に活用し、少しでも上を目指してほしい。今回の大問別得点率を見ると、いずれも50%台後半から70%台半ばの範囲内にあり、総じて安定していたことが分かる。終盤においても大きく崩れなかった点は評価できるだろう。小問レベルで見ると、正答率が40%台に終わったものもいくつかあるので、間違えた箇所については個別によく見直して欲しい。今回はかなりの好成績だった第4問であるが、ここは最後に設けられた難問である。本番でも最後まで集中して乗り切ってもらいたい。ここで好成績を取めれば大きな差をつけることにもなるだろう。残りわずかな期間と言えども、筆記問題対策と同様に耳のトレーニングも怠りなく続けて欲しい。



II. 大問別分析

第1問 対話の聞き取り (語句・イラスト選択) 総じて安定していた！

第1問の今回の得点率は67.5%とまずまずの成績であった。小問別正答率を見ても、50%台から80%台の範囲内に収まり、全体的に安定していた。問6のグラフを用いたビジュアル問題にもよく対応できていたようだ。トリッキーなタイプの設問を含む箇所だが、今回に関しては特に取り上げるべき大きな反省点は見当たらない。本番でも上手に対応してほしい。今回は無難にこなしていたが、特徴的なイラストや数値を用いた問題にはできるだけ備えるようにしたい。特に時間、金額などを中心とした数値問題は要注意である。苦手とする人は過去の類似問題を見直したり、音声を聞いたりして、最後までトレーニングを続けよう。

第2問 対話の聞き取り (応答文選択)

本番でもこの調子を維持しよう！

第2問の得点率は72.1%とかなりの好成績であった。小問別の正答率も、70%台を中心として、悪くても50~60%台をクリアしていた。唯一正答率が50%台にとどまった問12は、「(ほしい品を)注文してはどうか」という相手の問いかけに対する応答を選ぶ問題であるが、単純なYes/Noで答える場面ではない。あくまでも自然なつながりを意識して、②「買う余裕がない」を選ぶべきところだが、①「見ているだけだ」、③「持っていない」を選んだ人もかなりいた。第2問では、紋切り型の質疑応答ではなく、このように場面に応じた自然な言葉を選べるように、文脈を的確に捉えることが必要である。この箇所の基本的な傾向として心に留めておこう。

第3問A 対話の聞き取り (質問文に答える)

良くできていたが、課題も見られた。

今回の第3問Aの得点率は75.6%で、非常に良くできていた。ただし、小問別の正答率を見ると、

ややばらつきがあり、50%台、70%台、90%台がそれぞれ1問ずつだった。最も正答率が低かった問15では、会話が行われている場所を答えることが求められている。会話中の語句を手がかりにしながら、その場所（どこに並んだ列か）を推測させる問題である。直接その場所に言及した言葉ではなく、間接的なヒントを総合して判断しなければならない。popular, critics, performances などから、③の「劇場に並んだ列」が正解となるが、hungry, snackなどに気を取られて、②「バーカリー」、④「食料品店」を選んだ人もかなりいた。この大問は対話文を完成させる第2問とは異なり、完結した対話文に基づく内容一致問題であるが、こうした推測能力を試すケースがありうることを覚えておこう。

第3問 B 長めの対話の聞き取り 課題を残したビジュアル問題！

第3問 B の得点率は57.9%で、今回のすべての大問の中で最も低かった。小問別の正答率を見ると、40%台が2つあり、それが大きく足を引っ張った。特に大きな不出来と言うほどではないが、一般論として、ここでは対話文の聞き取りに加え、図を見ながらの解答を求められるので、少しでも集中力を欠くと思わぬ取りこぼしにつながりかねない。また、第3問 A とは異なり、図表を含む長い1つの対話文に基づいて、それを聴きながら3問を処理するのは、やはり違った難しさがある。本文が長くなれば、それを耳で受け止めて理解する速さも違ったレベルが求められるからだ。間違えた箇所があれば、どこに原因があったかをよく考え、メモの取り方に工夫の余地はないか検討してもいいだろう。

第4問 A 長めの文章の聞き取り

さらにトレーニングを重ね、万全の準備を！

今回の第4問 A の得点率は61.3%で、第3問 B に次いで低かった。小問別の正答率では、やはり40%台に終わったものが1つあった。リスニング問題では後半徐々にハードルが高くなる。ここは1人の話者による長めの本文を聴き、3つの内容一致問題に答える箇所であるが、聞き取る分量が多い上に、内容面もより複雑である。これに対処するのに、にわか仕込みの対策では通用しない。設問に関して言えば、内容一致問題の性格上、本文と選択肢

では同じ表現を避けるのがふつうであるから、やはり類似問題にどれだけ慣れているかが問われることになるだろう。不安を感じる人は多いであろうが、本番までの短い期間であっても、常に英語の音声に耳を傾けるとともに、過去問を見直しておくことをすすめたい。

第4問 B 長めの会話の聞き取り

過去問を見直し、本番に備えよう！

今回の第4問 B の得点率は75.6%で、第3問 A と並んで好成绩だった。小問ごとの正答率は、50%台、70%台、90%台がそれぞれ1つずつと、ややばらついていたが、これだけの結果を残せば何も問題はない。第4問 B は長い会話を用いた最後の難関である。ここでハイレベルで安定した成績を見せたことは非常に高く評価できる。ぜひ、この調子で本番に臨んでほしい。現行のセンター試験リスニング問題では、第4問 B を含めて、2人もしくはそれ以上の対話や会話に重点を置くようになっている。本模試を含めて過去問を見直し、本番に備えてもらいたい。

Ⅲ. 学習アドバイス

センター試験本番レベル模試のリスニング問題は、2018年度を含め、これまで継続してきたセンター試験の内容に沿っている。2019年度センター試験でも、これに近い形式・内容の問題が出題されると予想される。本模試を毎回受験してきた人は、設問形式に対する習熟度が相当に高まっているであろう。

入試直前期ではあるが、リスニングが苦手な人は、1日に5分でも10分でもよいから、毎日英語を聞いて耳を慣らしてもらいたい。そして、耳の感覚をそのまま研ぎ澄ました状態で本番に臨んでもらいたい。

最も大切なのは、「集中して聞く」ということだ。他の勉強をしながらBGM代わりに英語を流しても、全く効果はない。単語や熟語の暗記と同様に、最後の一日まで努力を続けることによって、少しでも力をアップさせてセンター試験当日を迎えるようにしよう。